

ホームステイの受け入れを行なって感じたこと

海外青年：Sarah さん

ホストファミリー：岡田修治、岡田圭子

初めてのホームステイを受け入れるにあたり、英語が話せないことに対する不安もありました。初日は緊張もありましたが、松江城に行ったり、夜は家でホームパーティーをしたり等、時間を共にするうちに緊張も和らぎ、翌日は、朝から Sarah がタブレットを使って子供と遊んでくれたりとすっかり打ち解けていました。

翌日は、足立美術館や清水寺に行き時間が経つにつれ寂しさが強くなっていました。空港での見送りの際に、Sarah が「今回の経験は今後の人生において二度とないとても幸せ」と言ってくれたことに妻も安堵したのか、涙が溢れ涙の別れになりました。次男も Sarah と一緒に飛行機に乗れるかと思い大泣きでした。

二日間は本当にあっという間でしたが、子供のこれからの人生においても良い経験となり、私たちにとっても貴重な経験になりました。また、何よりも Sarah に喜んでもらえたことが私たちにとっても幸せでした。このような機会を設けていただいたことに感謝します。

